

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 公園・生活排水課
評価対象期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	大分スポーツ公園及び高尾山自然公園	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	(大分スポーツ公園)大分市横尾1351番地ほか (高尾山自然公園)大分市横尾4225番地ほか		
	設置目的	県民のスポーツ振興及び健康増進を図る。		
指定管理者	名称	株式会社 大宣		
	代表者名	代表取締役社長 朝倉 弘美		
	所在地	大分市東春日町1-8		
指定管理業務の内容	① 公園施設の維持管理及び修繕に関する業務 ② 都市公園の利用の受付及び案内に関する業務 ③ 都市公園施設の利用の許可に関する業務 ④ 都市公園の利用の促進に関する業務 ⑤ 地域、NPO等との連携に関する業務 ⑥ ネーミングライツパートナーシップ事業に関する業務			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成26年4月1日～31年3月31日(5年間)			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		32
(1)施設の設置目的の達成	20	4	16
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。			
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】			
<p>○ 目標指数である利用者数については、目標値1,220,000人に対し、26年度は1,251,769人(達成率102.6%)、27年度は1,153,427人(同94.5%)、28年度は1,144,627人(同93.8%)、29年度は1,088,487人(同89.2%)と、1年目以外目標達成とならなかった。主な要因としては、26年度はサッカーキリンカップ開催やサーカス誘致に成功したものの、27年度は大規模イベントが誘致できなかったこと、28年度は熊本地震の影響によるイベント中止、29年度は12～2月のドーム屋根改修工事や4月からの屋内スポーツ施設建設工事の影響が挙げられる。</p> <p>○ 指定管理者が行う自主事業として、テニススクール(19年度から)、硬式野球初心者教室(21年度から)、そば道場(22年度から)及び陶芸塾(25年度から)を開催し、利用者の方に喜ばれている。テニス教室は初心者からジュニア育成強化まで4つのコースがあり、198人の生徒が受講している。硬式野球初心者教室は、軟式野球から硬式野球への移行をスムーズに行うために中学3年生を対象に実施しており、116人が受講している。そば道場は参加者に好評で6か月の予定期間を過ぎても継続を希望する人が多い。陶芸塾は5年目に入り、初心者とは思えない作品に仕上げる受講生も出てきている。</p> <p>○ サービス改善提案事業として誘導サインの充実及びインターネットからの利用予約などに取り組んでいる。館内サインの充実は、利用者アンケートでも指摘があり、大分銀行ドーム内及び公園全体で、利用者が迷いやすいところに案内看板を設置している。インターネットからの利用予約については、個人利用が多いテニスコートについて予約システムを導入して利用者の利便性の向上を図っている。</p>			

<p>○ 大分スポーツ公園の情報発信を図るためこまめにホームページの更新を行っている。26年度にリニューアルし、レイアウト等の変更と併せ内容の充実も図ってきた。ホームページのアクセス数は、28年度の171,995回から29年度は180,012回となり前年対比104.7%となっている。27年12月からはフェイスブックを始め、28年度3月時点では「いいね」の数が98個であったが、29年度3月末時点では216個と数を伸ばしている。こまめに更新を行うことで多くの情報が発信され閲覧者が増えたと考えられる。</p>			
<b>(2) 利用者の満足度</b>			
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	4	16
②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
<p><b>【評価の理由】</b></p> <p>○ 利用者アンケートについては、アンケートボックス設置やホームページ掲載などの方法により呼びかけを行い、より多くの利用者からきめ細かに意見を聞く体制をとっている。26年度の回答数は576件であったが、年々回答数が増加しており、29年度の回答数は1,069件（前年対比125.6%：28年度851件）となっている。</p> <p>○ 利用者アンケートの結果、26年度～29年度の毎年、利用の感想は「大変良い」及び「良い」の評価が8割を超えており、職員の対応を中心に、施設利用者の満足度は高い。また、調査結果を分析して、運営上の課題をワーキンググループ等で把握することにも努めている。</p> <p>○ アンケートの結果については、ホームページにおいて公表している。</p> <p>○ 利用者からの意見・苦情に関しても、指定管理者のみでできることにはすぐに対応し、県との協議や報告が必要なものについてはすぐに協議、報告が行われている。</p>			
<b>2 効率性の向上等に関する取組み</b>		<b>30</b>	<b>24</b>
<b>(1) 経費の低減等</b>			
①施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。	20	4	16
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
<p><b>【評価の理由】</b></p> <p>○ ドームに設置されているエレベーター7基のうち2基は、施設の利用上、問題がないため常時停止しており、館内の照明も不必要なものはこまめにスイッチを切るなど、省電力に努めている。</p> <p>○ 管理運営業務の一部（清掃、設備管理、警備、芝生管理等）を専門のパートナー企業に再委託して連携を図ることにより、全体として効率化を図り、経費の節減に努めている。</p> <p>○ 職員及び防災センターの設備管理担当者、警備担当者が公園内の巡回の際の異常の早期発見そして早期対応することにより、後手の対応による無駄な出費を防ぎ、経費の低減に努めている。</p> <p>○ 公園内の草刈り・草取り作業の一部をボランティアに行ってもらうほか、指定管理者のスタッフが毎月1回、自ら草刈りを実施することにより、管理経費の削減に努めている。</p>			
<b>(2) 収入の増加</b>			
①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。	10	4	8
<p><b>【評価の理由】</b></p> <p>○ 使用料については、29年度はやや減少（前年対比95.4%）したものの、26年度～28年度の間は年々増加している。収入増加の主な要因は、全国大会、九州大会、各種スポーツ大会、展示会、合宿等の誘致によるものである。</p>			
<b>3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み</b>		<b>30</b>	<b>24</b>
<b>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</b>			
①施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。	15	4	12
②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。			
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			

<b>【評価の理由】</b> ○ 指定管理者として施設の管理運営に当たる人員は、(株)大宣の社員20人であるが、そのほか(株)メンテナンス、雪印種苗(株)、(有)フーデーズなど、パートナー企業の人員も常時ドームに詰めており、30人を超える人員がスポーツ公園の日常の管理運営に当たっている。 ○ 職員の資質向上のため、各種資格の取得を推奨している。職員の希望も考慮のうえ、体育施設管理士、体育施設運営士、防火管理講習、防災管理講習などの資格を取得している。平成28年度から資格が更新制となったので更新手続きを行った。 ○ NPO法人、地元自治会、ボランティアグループなど10団体で「大分スポーツ公園サポーターズクラブ」を組織し、清掃活動、花壇の整備、自然観察会など活発に活動しており、指定管理者と連携・協力して管理運営業務を行っている。 ○ 地域との連携を図るため、地元中学の職場体験学習や高校生の清掃活動、企業のボランティア活動を積極的に受け入れている。			
<b>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</b>			
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。	15	4	12
②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。			
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。			
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
<b>【評価の理由】</b> ○ 個人情報の保護、情報公開、文書取扱等について法や条例に基づき諸規定を整備している。 ○ 施設の利用に当たっては、施設ごとに各種大会の優先順位を定め利用計画を決定している。一般の利用希望者について希望が重複した場合は抽選により利用者を決定している。 ○ 毎月1回全体会議を開催し、必要事項の伝達などを行っている。また、AEDの取り扱いなどに習熟するため普通救命講習にも力を入れている。 ○ 施設の安心、安全を図るため、県と共同で安全管理マニュアルを制定し、定期点検(1か月点検、3か月点検、イベント後点検など)を行うことにより、公園内の安全を図っており、管理瑕疵による事故は発生していない。 ○ 利用者の安全を図るため施設賠償責任保険に加入し、万一の事故に備えている。 ○ 毎日午前と午後1回ずつ、職員2人体制で高尾山自然公園及びスポーツ公園全体を巡回し危険箇所がないかどうかを点検している。この巡回により、公園内の事故を未然に防ぐ体制をとっている。 ○ スポーツ公園が南海トラフ地震などの大規模震災時の広域防災拠点に指定されたため、大分県防災訓練等の各種訓練や資機材保管等について指定管理者として協力している。それとともに、平成28年4月の熊本地震の大規模災害発生の際は物資の発送基地として役割を果たした。			

**【選定委員の意見】**

- 平等な施設利用や関連法令の遵守等の基本事項のほか、これまでの管理運営の経験と実績に基づいた堅実な施設の維持管理、地域住民やNPO等との連携・協働、利用者ニーズの把握と対応、イベント・大会等の誘致など、多岐にわたる業務の処理を行っており、適正な維持管理及び利用の促進がなされていると思われる。指定管理者が選定時に提出した事業計画の内容については、概ね計画どおり適正に実施されていると考えられる。

**【総合評価】**

合計得点(100点満点)	80	評価ランク(A~E)	B
--------------	----	------------	---

**【評価の理由】**

- 施設の管理運営は、事故等もなく適切に行われている。また、利用者アンケート結果からも、26~29年度の毎年8割を超える方から「良い」以上の評価を得られていることから、利用者ニーズに応え適切に管理運営が行われていると評価できる。  
○ NPO法人、地元自治会、ボランティアグループ、近隣の学校、企業と協力して清掃活動、花壇の整備、自然観察会等、活発に活動しており、地域との連携が保たれている。

## 【今後の対応】

- 今後の課題としては、27年度以降目標利用者数を達成できていないため、達成を目指し大規模イベントの誘致を目指すとともに、中・小規模イベントの誘致にも積極的に取り組むことが必要である。
  
- 31年度ラグビーワールドカップに向けたドーム内工事や、ドーム西側エリアに建設中の武道スポーツセンターの工事が行われるため、工事(工事車両の走行等)との調整を図りながらイベントを実施し、常に利用者の安全確保を第一に対応してもらいたい。

## 【指定管理者評価部会の意見】

## 【評価】

- 1 利用者数は目標値に達していないものの、指定管理期間の外的要因(熊本地震、トリニータのJ3降格、大銀ドームや武道スポーツセンターの工事期間)を勘案すると概ね達成しているとも言え、その他のイベント誘致(駐車場スペースでのイベント等)している点は評価できる。

## 【意見】

- 1 東京オリンピックで都市部の会場が使えない時期は、大規模イベント誘致のチャンスであり、営業を強化して頂きたい。